

学習課題（小学校 6 年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

<学習内容>

◆「話し言葉と書き言葉」（教科書 58～59 ページ）に取り組めます。

- (1) 58 ページ上段にある、シェフの山口さんが話している吹き出しの内容と、男の子が書いている文章を比べながら読みます。
- (2) 山口さんの吹き出しと男の子の文章を読み比べて、「違うな。」と感じたことを、ノートや取組シートに箇条書きで3つ書きます。
- (3) 58 ページ下段の《話し言葉》と、59 ページの上段《書き言葉》の説明を読みます。

【まとめ方の例】

- (4) 【まとめ方の例】を参考に、①から④の《話し言葉》の特徴と比べながら、《書き言葉》の特徴を表にまとめてノートや取組シートに書きましょう。

※(3) で読んだ説明の内容や、自分の経験をもとに、考えてみましょう。

④ 相手に合わせて言葉づかいを選ぶ	③ 語順が整わない	② 言いまじがいやすぐに直せる	① すぐに消える	話し言葉	ここがちがう！話し言葉と書き言葉
⇕	⇕	⇕	⇕	書き言葉	
④	③	②	①例 消えずに残る		

- (5) 59 ページ下段①の問題を読んで、次の場合について考えたことを、ノートや取組シートに書きましょう。

- ① 親しい友達へのメール（または手紙）には、これまでまとめた他の《書き言葉》と比べて、どのような特徴があるでしょう。
- ② 親しい友達へのメール（または手紙）では、どのようなことに気を付けるとよいでしょう。

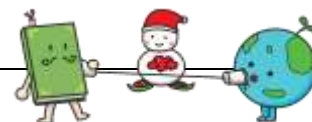
※《話し言葉》と《書き言葉》の特徴をもとに考えましょう。

◆「たのしみは」、「文の組み立て」で学習する予定の新出漢字（「暮」～「派」）を練習します。（読み方や書き順などは、299～300 ページに載っています。）

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・(4) では、表にある《話し言葉》の特徴と比べながら、P59《書き言葉》の説明を自分なりの言葉に言い換えてまとめていけるように、声を掛けてあげてください。

【社会】



<学習内容> 「日本の歴史」教科書「歴史編」

◆ 「^{じょうもん}縄文のむらから^{こふん}古墳のくにへ」（教科書 10～15 ページ）をもとに、^{やよい}弥生時代の^{じだい}の暮らしについて、それぞれ調べ、取組シートやノートにまとめよう。

- (1) 弥生時代の暮らしについて「住居・道具・食べ物」の3つの視点でまとめましょう。
 - ・【住居】 ……何という家で、何を使ってつくっていましたか。
 - ・【道具】 ……どのような道具をどのような目的で使っていましたか。
 - ・【食べ物】 ……どのようなものをつくっていましたか。
- (2) 縄文時代（教科書 12～13 ページ）と弥生時代（教科書 14～15 ページ）の想像図を見比べて、同じところとちがうところを2つずつ書いてみよう。

ことば(P10)

- (3) 弥生時代に米づくりが始まって、人々の生活はどのように変わりましたか。下の（ ）に言葉を入れてまとめてみよう。

米は（ ）ができ、（ ）もあるので、人々の生活の安定に役立った。米づくりが伝わることにより、（ ）も大きく変わっていった。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・歴史の学習は知識を暗記することがすべてではありません。前の時代と次の時代を比較して考えることが大切です。縄文時代と弥生時代は、米づくりによって生活の様子や社会の様子が大きく変わるため、比較して考えやすい時代と言えます。

【算数】

「※」は、学習する時のアドバイスです。

学びの手引き p.255 数直線のかき方

<学習内容> ◆分数を整数でわる計算（教科書 31 ページ）



$1\frac{4}{5} \div 2$ の計算のしかたを考えましょう。

このままの式で計算することができるかどうか、下の記号に○をつけ、そう考えた理由を書きましょう。



できる



できない

※かけ算のときの計算を思い出してみるといいね。

そう考えた理由は…

$1\frac{4}{5} \div 2$ の計算のしかたを考えて書こう。

※帯分数をどんなふうに変えるといいかな？

分数÷整数の計算も、分数×整数と同じように『帯分数を仮分数にして』考えればできるんだね！



<課題> 分数÷整数はどんなことに気をつければいいのかな。

次の計算はまちがっています。どうしてまちがったと思いますか。
あなたの考えを書きましょう。

$$\frac{2}{3} \div 3 = 2$$

※よくあるまちがいなので
す。かけ算とわり算の違いを
考えるといいよ。

まちがえた理由は…

時間があれば ステップアップ算数 p.233～234

6 7

注意



◆ **かけ算とわり算の違いに注意!**

かけ算とわり算のけいさんのしかたを整理して覚えるといいね。

かけ算

$$\frac{b}{a} \times c = \frac{b \times c}{a}$$

わり算

$$\frac{b}{a} \div c = \frac{b}{a \times c}$$

学習を振り返ろう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆分数と整数のかけ算,わり算（教科書 P31）

- ・計算のしかたがわかると、子どもたちは、頭の中で計算したり、途中の計算を省いたりします。そして、上記のようなまちがいをしてしまうことがあります。途中の計算や、「分子にかける」「分母にかける」ことを図などで説明することを大切にすると、まちがいが減ると思います。「これは、かけ算だから…」や「分母にかけるのは…」などと丁寧に活動する姿があるとすばらしいです。

【理科】

＜学習内容＞

◆「大地のつくり」（教科書 106～108 ページ）を読んで、地層のそれぞれの層がどのような物でできているのか調べます。【観察 2】

※層によって、ふくまれているつぶの大きさや色が違ったね。

①教科書 107 ページの観察 2 を読んで、観察方法や、観察カードの書き方を学びましょう。

②教科書 108 ページの写真を見て、地層に含まれるつぶ（どろ・砂・れき・火山灰）の特徴を取組シートやノートにまとめましょう。

	つぶの色	つぶの形	つぶの大きさ
どろ			
砂			
れき			
火山灰			

③観察したことをもとに、地層のそれぞれの層についてわかったことを、取組シートやノートにまとめましょう。

【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School「地層をつくるのは？」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301435_00000&p=box



＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習は、地層に含まれる粒の観察から、土地のつくりやでき方について考えることを大切にしています。
- ・地層のでき方について疑問をもてるよう、「どうして層によって粒が違うのかな」「どうして自然の中でしま模様ができたのかな」などと声をかけてください。

【外国語】

<学習内容> ◆今週は自分の名前を書いてみましょう。

★「動画」を使える人は、見ながら自分の名前を書いてみましょう。

(1) 名前を書く時のポイントを確認しましょう。

ポイント 1

①苗字 ②名前 の順番に書きます。

ポイント 2

苗字と名前の初めは大文字で書きます。

動画



Tanaka Haruka

ポイント 3

苗字と名前の間は 1 文字分空けます。

(2) 3つのポイントに気を付けながら、下の4線に自分の名前を書いてみましょう。

(3) “I’m ～.” の表現を使って、自分の名前を言ってみましょう。

<例> “I’m Tanaka Haruka.”

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じて御活用ください。

小学校、中学校で共通して学習する内容を紹介しています。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojyo.html



<配信内容>

新着動画 → 「一日の生活」「乗り物」「味」「衣類」「一日の時間・文房具」

「教科」「状態」「職業」「月」「序数（日付）」「名前の書き方」「アルファベットの
大文字・小文字」「食べ物」「スポーツ」「国」「色」などもあります。

※「取組シート（外国語4線）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。

【家庭科】

＜学習内容＞


◆「**③**クリーン大作戦」に取り組みましょう。（教科書 74～77 ページ）

(1) 「なぜ、そうじをするのか。」について考え、自分の考えをノートや取組シートに書きましょう。

(2) そうじのしかたを見直しましょう。

「学校のごごれウォッチング」（教科書 75 ページ）の「昇降口・げんかんの例」をもとに、家族みんなで使う場所のそうじのしかたをふり返ります。**【よごれの種類】【なぜ、よごれるのか】【今までのそうじのしかた】【さらにくふうできること】**を考え、下の表のようにノートや取組シートに書きましょう。

場所の例：家のげんかん・居間・水回り（台所・洗面台・風呂・トイレなど）など

(ノート例) 台所 	【よごれの種類】 ・水あか（カビ） ・野菜のかげら（小さいもの）	【今までのそうじのしかた】 ・スポンジでこする。 ・野菜を拾う。
	【なぜよごれるのか】 ・毎日、料理をしている。 ・すみずみまで見て、野菜をひろっていない。 ・しっかりとこすっていない。	【さらにくふうできること】 ・すみずみまで見る。 ・アクリルたわしを使ってみる。 ・台所の材質に合った住宅用洗ざいを使ってみる。

(3) そうじのしかたをくふうして、そうじをしてみましょう。

・(2)で調べたよごれから、教科書 76～77 ページの「そうじの手順と実行」を参考に、そうじの準備をし、そうじをします。後かたづけまでやりましょう。

・ふり返りをします。**【場所】【その場所を選んだ理由】【手順】【方法】【くふうしたこと】【ふり返り】**をノートや取組シートにまとめましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

・この学習では、家族の一員として、生活をよりよくしようと、清掃の仕方について、自ら工夫し、実践しようとする力を付けることをねらいとしています。

・各家庭で、住まいの清掃の仕方は様々ですので、お子さんに掃除の仕方の工夫を教えてください。これからも主体的に取り組めるよう、掃除の後には、「ありがとう。」と声をかけていただきたいと思います。

【体育】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。

＜学習内容＞

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



◆「なわ跳び」に取り組みましょう。

色々な跳び方で「前とび」をしてみましよう。跳び方を工夫するだけで、なわ跳びが楽しく、上手になりますよ。

○前とびの基本



前とびのコツは、脇をしめて手首を早く回すことです。脇に本を挟んでいるつもりで跳びましよう。また、つま先で着地すると上手に跳ぶことができます。30秒で70回程度跳べるようになると二重跳びができるようになると言われているので頑張りましよう。

○ベル・スキー



ベルは前後にスキーは左右に跳びます。

○グーチョキパー



前とびをしながら、グーチョキパーで着地をします。

○ケンケン



前とびをしながら、ケンケンをします。左右どちらでもできるようにましよう。

※余裕があれば「後ろとび」など、他の跳び方にも挑戦してみましよう。くり返し取り組みると、じょうずになりますよ。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・跳んだ回数を数えてあげたり、こつをうまく生かして跳んでいる姿を褒めてあげたりして、継続して取り組む意欲へとつながるよう声をかけてあげてください。